

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 日本インシュレーション株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5368 URL <https://www.jic-bestork.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉井 智彦  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部経営企画部部長 (氏名) 金子 一郎 (TEL) 06-6210-1250  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,833	△19.0	508	△39.3	497	△43.1	319	△28.9
2022年3月期第2四半期	7,199	8.0	837	△10.3	873	△4.9	450	187.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 343百万円(△17.1%) 2022年3月期第2四半期 414百万円(149.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	36.92	—
2022年3月期第2四半期	51.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,039	12,030	75.0
2022年3月期	16,450	12,080	73.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,030百万円 2022年3月期 12,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,900	△8.6	1,451	△22.0	1,449	△23.4	894	△22.0
								103.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,707,200株	2022年3月期	8,707,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	97,415株	2022年3月期	17,415株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,663,118株	2022年3月期2Q	8,689,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。したがって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性も有しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、緩やかながらも景気の持ち直しが期待される一方で、原料、燃料の価格高騰や供給面での制約等の影響が景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループにおきましては、建築関連では、物流施設を中心に耐火被覆工事が微減で推移しましたが、耐火被覆材の販売需要は回復しつつあることから、売上高は前年同期比で増加しました。プラント関連では、保温材の販売需要が徐々に回復しつつあるものの、当初想定していたように、ここ数年続いていた電力プラント等の大型建設工事案件が一服したことから、売上高は前年同期比で減少しました。なお、原料・燃料費が高騰し製造原価を押し上げている状況を踏まえ、今期当初、さらには今夏にも顧客等への製品価格の値上げを実施し、浸透を図っているところではありますが、それを上回る原料・燃料費の著しい上昇が収益を圧迫している状況であります。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は5,833,541千円(前年同期比19.0%減)、営業利益は508,535千円(前年同期比39.3%減)、経常利益は497,477千円(前年同期比43.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は319,860千円(前年同期比28.9%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <建築関連>

工事部門においては、オフィス、データセンター、工場等の耐火被覆工事が比較的堅調に推移したものの、物流関係の大型工事案件の受注がやや振るわず、工事売上高は前年同期比で微減となりました。一方、販売部門においては、煙突用断熱材は振るわなかったものの、耐火被覆材、内装仕上げ材等は徐々に回復し、販売売上高は前年同期比で増加しました。

その結果、売上高は2,448,129千円(前年同期比3.1%増)、営業利益は477,227千円(前年同期比18.2%減)となりました。

#### <プラント関連>

販売部門においては、国内一般顧客向け製品及び海外子会社製品等の需要が徐々に回復しており、価格転嫁の寄与もあって、販売売上高は前年同期比で増加しました。しかしながら工事部門においては、電力、石油、鉄鋼等のメンテナンス関係は比較的堅調に推移しているものの、想定していたように、ここ数年続いていた大型建設工事等が一服したことから、工事売上高は前年同期比で減少しました。

その結果、売上高は3,385,412千円(前年同期比29.8%減)、営業利益は480,375千円(前年同期比35.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて411,289千円減少し、16,039,441千円となりました。

#### (流動資産)

流動資産については、前連結会計年度末に比べて473,314千円減少し、10,052,072千円となりました。これは主に、現金及び預金が726,482千円増加したものの、完成工事未収入金が1,122,006千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

固定資産については、前連結会計年度末に比べて62,025千円増加し、5,987,369千円となりました。これは主に、投資その他の資産が56,350千円増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

流動負債については、前連結会計年度末に比べて343,503千円減少し、2,750,184千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が109,321千円、工事未払金が158,102千円、未払法人税等が92,108千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債については、前連結会計年度末に比べて17,933千円減少し、1,258,269千円となりました。これは主に長期借入金が59,774千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて49,851千円減少し、12,030,987千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,661千円、為替換算調整勘定が13,961千円増加したものの、自己株式の取得により72,000千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して723,482千円増加し、3,226,136千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,309,234千円(前年同期は880,883千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益493,775千円、減価償却費155,444千円、売上債権及び契約資産の減少1,329,740千円、契約負債の増加68,388千円により資金が増加した一方で、仕入債務の減少267,482千円、その他132,780千円、法人税等の支払額251,712千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、184,414千円(前年同期は321,735千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出123,937千円、投資有価証券の取得による支出72,347千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、418,297千円(前年同期は475,976千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出74,775千円、配当金の支払額321,522千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想につきまして、販売における受注の回復、製品価格の値上げ、合理的な原価管理の徹底等により、上期売上高予想5,542百万円に対し実績5,833百万円(予想比105.3%)、営業利益予想435百万円に対して実績508百万円(同116.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益予想243百万円に対して実績は319百万円(同131.6%)と予想を上回る結果となりました。通期の連結業績予想につきましては、原料、燃料の価格高騰や供給面での制約等の影響が今後も業績に与えるリスクがあるため、2022年5月12日に公表いたしました予想数値からの変更は行っておりません。今後、ロシアによるウクライナ侵攻、世界的な金融引締め等の影響等により、さらに経済及び事業環境が一層悪化する等の事態が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点では、業績予想の修正が必要な状況にはありませんが、今後、業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,463,552	4,190,035
受取手形、売掛金及び契約資産	2,652,186	2,190,095
電子記録債権	796,425	1,051,609
完成工事未収入金	2,796,371	1,674,364
商品及び製品	525,040	532,274
仕掛品	135,563	232,078
原材料及び貯蔵品	138,247	154,994
その他	17,998	26,619
流動資産合計	10,525,386	10,052,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,125,388	1,110,504
機械装置及び運搬具（純額）	1,292,424	1,241,640
土地	2,721,445	2,721,445
建設仮勘定	32,500	124,880
その他（純額）	75,580	63,237
有形固定資産合計	5,247,339	5,261,706
無形固定資産	87,812	79,118
投資その他の資産		
その他	640,192	696,543
貸倒引当金	△50,000	△50,000
投資その他の資産合計	590,192	646,543
固定資産合計	5,925,344	5,987,369
資産合計	16,450,730	16,039,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,258	779,937
工事未払金	533,110	375,008
契約負債	174,392	242,781
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	423,048	382,048
未払法人税等	277,137	185,029
賞与引当金	280,655	283,961
完成工事補償引当金	16,842	8,299
工事損失引当金	9,394	9,568
設備関係支払手形	56,423	36,955
その他	383,425	346,594
流動負債合計	3,093,687	2,750,184
固定負債		
長期借入金	550,438	490,664
役員退職慰労引当金	172,657	178,520
健康被害補償引当金	106,500	146,500
その他	446,608	442,585
固定負債合計	1,276,203	1,258,269
負債合計	4,369,891	4,008,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,247	1,200,247
資本剰余金	938,887	938,887
利益剰余金	9,111,621	9,109,959
自己株式	△2,520	△74,520
株主資本合計	11,248,235	11,174,573
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	789,081	789,081
その他有価証券評価差額金	91,979	101,828
為替換算調整勘定	△48,458	△34,496
その他の包括利益累計額合計	832,603	856,413
純資産合計	12,080,839	12,030,987
負債純資産合計	16,450,730	16,039,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	7,199,582	5,833,541
売上原価	5,317,878	4,273,438
売上総利益	1,881,704	1,560,102
販売費及び一般管理費	1,044,243	1,051,567
営業利益	837,461	508,535
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,542	7,044
健康被害補償引当金戻入額	15,242	7,130
為替差益	11,583	25,998
賃貸収入	10,669	10,451
その他	3,254	7,180
営業外収益合計	46,292	57,804
営業外費用		
健康被害補償引当金繰入額	-	60,000
支払利息	3,514	3,098
賃貸費用	2,507	2,157
固定資産除却損	2,856	1,647
その他	1,266	1,958
営業外費用合計	10,145	68,861
経常利益	873,609	497,477
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,286
特別利益合計	-	3,286
特別損失		
減損損失	10,040	6,542
投資有価証券売却損	-	446
特別損失合計	10,040	6,988
税金等調整前四半期純利益	863,569	493,775
法人税、住民税及び事業税	266,000	163,000
法人税等調整額	147,568	10,915
法人税等合計	413,568	173,915
四半期純利益	450,001	319,860
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	450,001	319,860

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	450,001	319,860
その他の包括利益		
土地再評価差額金	△52,278	-
その他有価証券評価差額金	13,229	9,848
為替換算調整勘定	3,375	13,961
その他の包括利益合計	△35,673	23,810
四半期包括利益	414,327	343,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,327	343,670
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	863,569	493,775
減価償却費	174,688	155,444
減損損失	10,040	6,542
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△2,558	△8,542
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1,362	174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	49,500	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,351	3,306
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,734	5,863
健康被害補償引当金の増減額(△は減少)	△35,800	40,000
受取利息及び受取配当金	△5,542	△7,044
支払利息	3,514	3,098
為替差損益(△は益)	△770	△25,998
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△2,840
有形固定資産除却損	2,856	1,647
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	465,785	1,329,740
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,467	△106,172
未成工事支出金の増減額(△は増加)	155,560	-
仕入債務の増減額(△は減少)	△151,090	△267,482
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△359,313	-
契約負債の増減額(△は減少)	169,204	68,388
その他	△61,446	△132,780
小計	1,274,454	1,557,121
利息及び配当金の受取額	5,530	7,042
利息の支払額	△3,449	△3,217
法人税等の支払額	△395,651	△251,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,883	1,309,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,000	△15,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△321,085	△123,937
無形固定資産の取得による支出	△600	△7,633
投資有価証券の取得による支出	△5,057	△72,347
投資有価証券の売却による収入	-	10,729
投資不動産の賃貸による収入	10,669	10,451
投資不動産の賃借による支出	△1,719	△1,456
その他	△941	2,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,735	△184,414
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△221,834	△74,775
自己株式の取得による支出	-	△72,000
配当金の支払額	△304,142	△321,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475,976	△418,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,812	16,959
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	93,984	723,482
現金及び現金同等物の期首残高	1,582,636	2,502,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,676,621	3,226,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,374,351	4,825,231	7,199,582	—	7,199,582
計	2,374,351	4,825,231	7,199,582	—	7,199,582
セグメント利益	583,311	749,244	1,332,555	△495,094	837,461

(注) 1. セグメント利益の調整額△495,094千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第2四半期連結累計期間に10,040千円の減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,448,129	3,385,412	5,833,541	—	5,833,541
計	2,448,129	3,385,412	5,833,541	—	5,833,541
セグメント利益	477,227	480,375	957,602	△449,066	508,535

(注) 1. セグメント利益の調整額△449,066千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第2四半期連結累計期間に6,542千円の減損損失を計上しております。